

make smile

メイク・ユー・スマイル

まちのだれかを
笑顔にする
プロジェクト

ホフホフ
の笑顔

ワクワク
の笑顔

from
京都奏和高校

わくわく
の笑顔

ワクワク
の笑顔

ホフホフ
の笑顔

ホフホフ
の笑顔

2023.
12.21 木 OPEN 14:00
CLOSE 18:00

参加費
無料

申込
不要※

入退場
自由

※事前申込をするとイベント共通通貨
「emmy」をプレゼント(詳細は裏面に)

QUESTION

中京区河原町通御池下下丸屋町390-2

御池通
河原町通

〈アクセス〉

京都市営地下鉄東西線

京都市役所前駅 徒歩約 1分

京阪電車 三条駅 徒歩約 5分 (総合受付は7Fにて行います)

1・4・7F

後援：京都市教育委員会・龍谷大学

〈イベントに関するお問い合わせ〉

京都市立京都奏和高等学校(担当:井上)Tel 075-641-5121

14:00 - 14:20 4F

オープニング
セレモニー
プロジェクトやイベントの
紹介・説明をおこないます

14:20 - 15:00 4F

門川市長との
おむすびミーティング

生徒と市長が
プロジェクトに
ついて語り合います!

14:30- 1F 4F 7F

各フロアで
展示・発表などを通じて、
来場者と交流
するイベント
を行います!



詳細は公式
Instagramで

17:15-
展示・発表終了

17:20 - 18:00
クロージング
セレモニー

来場者のみなさんと
「笑顔」について語り、
イベントをまとめます!

京都奏和
の生徒が

を笑顔で
いっぱい
にする!?

ふわふわ
の笑顔

ワクワク
の笑顔

ほくほく
の笑顔

京都奏和高校「まちのだれかを笑顔にするプロジェクト」

京都奏和高校は、不登校経験のある生徒や、発達に困りのある生徒など、様々な困りのある生徒たちの学び直しを応援することを目的に令和3年4月に開校した、普通科定時制高校です。そんな本校の3年生が、総合的な探究の時間「ビジテックⅢ」において、「まちのだれかを笑顔にするプロジェクト」に取り組んでいます。

「ビジテック」は、「実社会の創造・生産活動を経験的に学び、さまざまな人と出会い、関わりながら、他者を、自分を笑顔にする」を3年間の目標として探究活動を行っています。中でも3年生が取り組む「ビジテックⅢ」では、活動の範囲を学校から社会に広げ、自分の得意を生かしたり、さまざまな人と協力しながら、「社会の笑顔を増やしていくこと」を目指します。

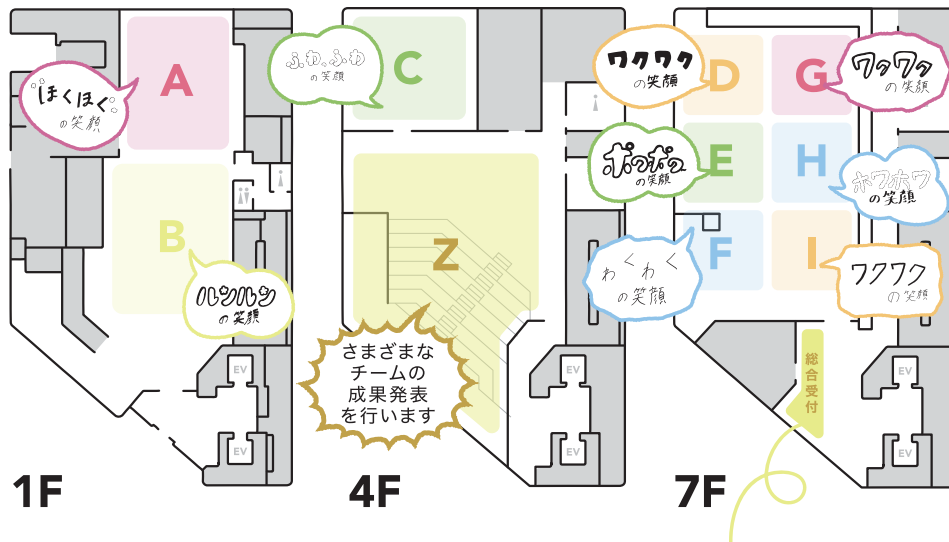
その成果を示し、また市民の皆さんとともに社会の笑顔を増やしていくために向き合うべき課題やあるべき姿をともに考える場を創造し、関わったすべての人が自分なりの方法で「まちのだれかを」を笑顔にするための一歩を踏み出すきっかけづくりを目指します。

共通通貨「emmy(エミー)」による市民の笑顔の見える化

一連の活動は、「京都市」「京都信用金庫」「龍谷大学」の連携、いわゆる〈産官学〉連携で行っています。産官学のそれぞれの強みを最大化することで、本校生徒が自信と誇りをもって「社会の創り手」となる第一歩を支え、学校教育目標の実現につなげます。

その仕掛けの1つに、金融機関が行う「融資」による企業の資金提供と回収のための関わり方を「笑顔」に変換し、教育連携へのマッチを図ります。今回のプロジェクトでは、京都信用金庫が会場として共創施設「QUESTION」を提供する代わりに(利子)に、本校生徒は自分たちのアクションによって生み出した「市民の笑顔で返済」する模擬的な金融システムで実施します。会場では、来場者の皆さまに「emmy(エミー)」という共通通貨をお配りし、生徒たちが対象の笑顔のために1年間取り組んできた活動の報告やワークショップを体験し、それによる笑顔の度合いにあわせてemmyを支払います。笑顔を通貨に置き換えたチップ制度のような仕組みによって、対象の笑顔がイメージできた、という評価が見える化します。

フロアマップ



事前申込の方法



事前申込二次元コード
事前申込で入場ラクラク♪

事前登録すると当日スムーズに入場いただけます。本校ホームページやチラシのアドレスや二次元コードからGoogleフォームに回答していただくと事前登録が完了します。事前登録完了のお知らせに書いてある「合言葉」を当日スタッフに伝えていただくと、会場での共通通貨「emmy(エミー)」をプレゼントします。

さらに、公式Instagramをフォローでさらに増額してお渡します！



必要事項を入力！



パスワード
??????

受付でいうと
合言葉をゲット！

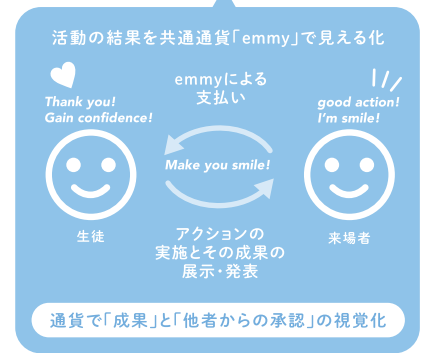


GET!
Emmy

でさらに！



Instagram



各チームの目標と実行するアクション

- A** 忙しくて自分の時間が取れない親を対象に、その大変さを伝えつつ、高校生が自分でできることを増やせるアクティビティを通して親の負担を軽減し、「ほくほく」の笑顔を目指します。
- B** ストレスで疲れている大人たちを対象に、リラックスした空間で話をきいたりゲームでリフレッシュできる居Bar所(居場所)を提供し、「ルンルン」の笑顔を目指します。
- C** 家庭環境や社会問題に苦悩する独りぼっちの子ども達を対象に、オンライン・オフラインでの居場所を提供し当事者の声をきくことで、「ふわふわ」の笑顔を目指します。
- D** 日本語が分からず道に迷う外国人観光客を対象に、観光がより楽しめるような観光やアクティビティなど独自のおもてなしによって「わくわく」の笑顔を目指します。
- E** 忙しくて自分の時間がないお母さん達を対象に、家事の見える化や手伝いの仕組みを考え、小学生が楽しみながら取り組めるアトラクションを提供し、「ポワポワ」の笑顔を目指します。
- F** 体が不自由で生活が不便な高齢者を対象に、その周囲の人がスマホの使い方をわかりやすく教えられるための仕組みづくりを通じて、「わくわく」の笑顔を目指します。
- G** 独りぼっちだけ人の役に立ちたい高齢者を対象に、地域団体と対象をつなぐために竹ペンチの製作を通じた交流によって、「わくわく」の笑顔を目指します。
- H** 不登校で学校に行けない子ども達を対象に、自身の類似経験をもとに良き相談相手として寄り添い、「ホワホワ」の笑顔を目指します。
- I** 計画的に宿題ができない小学生を対象に、楽しく学習に取り組むきっかけづくりを提案し、「わくわく」の笑顔を目指します。